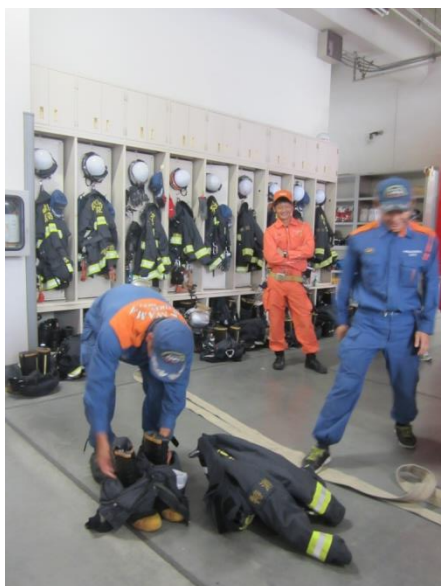


# 中消防署の見学に行きました

9月16日(水)に、中消防署の見学に行ってきました。私たちの安全なくらしをまもるために、消防署の施設や設備の工夫、働く人の仕事や動きを調べてきました。子ども達は、消防士さんたちの楽しいお話にどんどん引き込まれていました。命がけで人を助ける仕事をしている方々の話を聞き、改めて、自分の命を大切にしなければならないことを話し合いました。



すぐ消防服が着られるように、靴とズボンをくっつけて置いていました。



なんと24秒で着替え終わりました。でも、いつもはもっと速いそうです。



おっ、おもい。空気ポンベは20分たつと、アラームが鳴って、次の人と交代するそうです。



スムーズにストレッチャーが出し入れできる仕組みが分かりました。

火災現場では、このような低い姿勢で、手と足で辺りをさぐりながら、救出するそうです。



子ども達の質問に、ひとつひとつ丁寧に答えてくれました。



これで、交通事故でつぶれた車のドアを切って、けがをした人を助け出すそうです。



## 子どもたちの感想から

・なぜ、消防たいになったのか聞いたら、人のために役に立ちたいと、教えてくださいました。ぼくもそういう仕事がしたいです。地元に戻ってきてやりたいというところがかっこよかったです。

・毎日トレーニングをして、車両のてんけんもして大変だけど、わたしたちのためにしてくれているのにすごいと思いました。

くろうしたけど、人を助けて役に立ちたいと思います。このしごとにはほこりに思っている人たちがたくさんいたらいいと思います。強い気持ちがあるからこそできる仕事だと思いました。

・どんな訓練をしているかを聞いてみたら、ロープ登りをしていると聞きました。それも毎日やっていると聞いて、とてもびっくりしました。消防しさんは、自分が死ぬかもしれないのに、人を助けるからすごいなと思いました。

・見学に行って思ったことは、自然災害はしかたがないけれど、自分がちゃんと気をつけておけば、今より平和になると思います。ぎ間は、なぜ消防士さんはいっぱい訓練をしているのに、亡くなる人がいるかぎ間です。ぼくの予想は、大きい建物できゅうしゅつするのに時間がかかってしまったのかなと思います。

